

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

【推計人口】9月

令和7年9月1日の推計人口	1,234,910 人
世帯数	557,974 世帯
(参考)	
R2.10.1 現在国勢調査総人口	1,312,317 人
世帯数	558,230 世帯

1. 推計人口

令和7年9月1日現在の推計人口は1,234,910人で、前月(1,236,138人)に比べ△1,228人となった。

市部では、長崎市(△553)、佐世保市(△158)など、12市で減少した。

郡部では、時津町(△102)、新上五島町(△30)など、7町で減少した。

自然動態は、出生数578人、死亡数1,531人で△953人、社会動態は、転入者数2,921人(県内転入を含む)、転出者3,196人(県内転出を含む)で、△275人となった

2. 世帯数

令和7年9月1日現在の世帯数は、557,974世帯で前月(558,533)に比べ△559世帯となった。

(注) 異動人口推計=R2国勢調査確定数+住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】7月

1人当たり現金給与総額	351,963 円
対前月比	34.1 %減少
対前年同月比	6.6 %増加

1. 賃金

7月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は351,963円で、前月に比べ34.1%減少し、前年同月に比べ6.6%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は271,188円で、前月に比べ0.3%減少し、前年同月に比べ6.1%増加した。

特別給与額は80,775円で、前年同月に比べ、6,344円増加した。

2. 労働時間

7月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は150.1時間で、前月に比べ1.3%増加し、前年同月に比べ0.8%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は139.9時間で前月に比べ1.2%増加し、前年同月に比べ、0.8%増加した。

所定外労働時間数は10.2時間で、前月に比べ2.9%増加し、前年同月に比べ1.0%増加した。

3. 雇用

7月の常用労働者数は222,720人で、前月に比べ0.5%増加し、前年同月に比べ0.1%増加した。

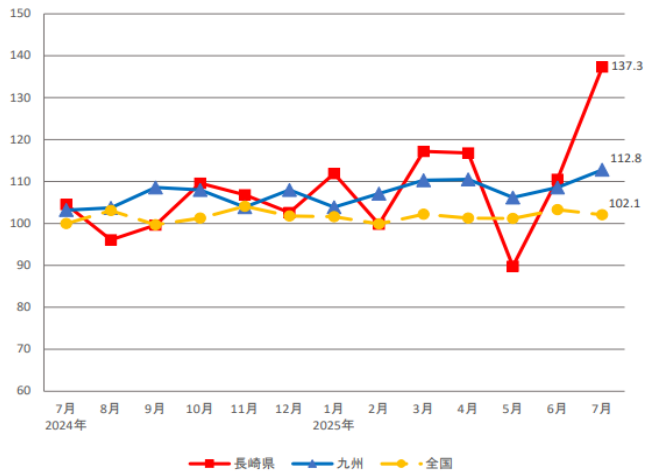
【鉦工業生産指数】7月

令和7年7月の鉦工業生産指数

(2020年=100)

区分	季節調整済指数	前月比	原指数	前月同月比
		(%)		(%)
長 崎 県	137.3	24.3	139.4	34.6
九 州	112.8	3.9	115.6	8.2
全 国	102.1	△ 1.2	107.4	△ 0.4

鉦工業生産指数の推移（季節調整済指数）



2025年7月の鉦工業生産指数は、季節調整済指数が137.3で対前月比は24.3%の上昇、原指数は139.4で対前年同月比は34.6%の上昇となった。

業種別にみると、電子部品・デバイス工業、鉦業、鉄鋼業など10業種が上昇し、はん用・生産用機械工業、電気機械工業、輸送機械工業の3業種が低下した。

○主な上昇業種

業 種	前月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
電子部品・デバイス工業	81.3	半導体集積回路
鉦業	28.7	-
鉄鋼業	21.1	-

○主な低下業種

業 種	前月比 (%)	低下に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	△ 45.8	ボイラの部品・付属品
電気機械工業	△ 34.9	交流発電機
輸送機械工業	△ 0.3	航空機用発動機

上昇業種、低下業種は全業種13業種から選定している。
寄与した品目については、主要業種7業種のみ掲載している。
(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】8月

総合指数 (R2=100)	112.7
対 前 月 比	0.5 % 上昇
対 前 年 同 月 比	2.9 % 上昇

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年（令和2年）を100として、112.7で前月比0.5%の上昇であった。

主な上昇要因は「食料」の2.0%上昇、「教養娯楽」の1.7%上昇であり、主な下落要因は、「光熱・水道」の3.9%下落、「家事・家事用品」の0.4%下落であった。

前年同月比は、4月は3.9%、5月は3.7%、6月は3.5%、7月は3.3%上昇と推移した後、8月は2.9%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は112.0で前月比は0.3%の上昇であり、前年同月比は3.1%の上昇であった。

(前月との比較)

上昇した費目		
食 料		2.0 %
教 養 娯 楽		1.7 %
交 通 ・ 通 信		0.5 %
諸 雑 費		0.9 %
同水準の費目		
住 居		±0.0 %
教 育		±0.0 %
下落した費目		
被 服 及 び 履 物		△ 0.2 %
保 健 医 療		△ 0.2 %
家 具 ・ 家 事 用 品		△ 0.4 %
光 熱 ・ 水 道		△ 3.9 %

※上記は、物価の寄与度が高い品目より順に上から記載している。

【家計（長崎市・勤労者世帯）】8月

消費支出（一世帯当たり）	321,560 円
前 月 比	6,560円増加（2.1%）

令和7年7月の長崎市・勤労者世帯（農林漁家世帯を含む）の消費支出は321,560円で、前月比2.1%の増加、前年同月比は6.2%の増加であった。

平均消費性向（可処分所得に占める消費支出の割合）は67.9%であった。

(注) ”長崎市の勤労者世帯の家計の平均”と考えず参考値として利用ください。